

【概説】米国の飲料水中の無機フッ化物規制について

◆ここがポイント: 米国飲料水中フッ化物イオン基準の改訂が HHS と EPA の連携による科学的レビューにより迅速に検討されている。

NITE ケミマガ 第 722 号 (2025/04/10) に以下の記事を掲載しました。

【2025/04/07】

<DWA> <Fluoride>

・EPA Will Expeditiously Review New Science on Fluoride in Drinking Water

→ <https://www.epa.gov/newsreleases/epa-will-expeditiously-review-new-science-fluoride-drinking-water> 

「飲料水中の無機フッ化物に関する新しい科学を迅速にレビューする」と題する記事が掲載された。

【背景】

無機フッ化物は自然に地下水などに含まれる元素で、歯の健康を改善するために飲料水に添加されることがある。米国環境保護庁 (EPA) は飲料水中の無機フッ化物の基準を 1 リットルあたり 4.0 ミリグラムに設定しているが、その値は直近、2024 年 7 月に評価された結果に基づくものである。その後の国家毒性プログラムの最新のレビューでは、1 リットルあたり 1.5 ミリグラムを超えるとこどもに悪影響を及ぼす可能性があるとしてされている。

【詳細】

EPA のゼルディン長官は、ユタ州ソルトレイクシティでのイベントで、飲料水中の無機フッ化物の健康リスクに関する新たな科学情報を迅速に評価することを発表した。この評価は、安全飲料水法に基づく無機フッ化物基準の決定に役立つ重要なステップである。EPA は、すべての米国人が清潔で安全な水を利用できるよう、連邦、州、及び地方のパートナーと協力している。

2024 年 8 月、米国国家毒物学プログラム (NTP) は報告書を発表し、1 リットルあたり 1.5 ミリグラムを超える無機フッ化物ばく露がこどもの IQ 低下と関連する可能性があるとして結論づけた。また、より低い無機フッ化物濃度へのばく露に関連する健康リスクを理解するためには、さらなる研究が必要であるとしている。EPA はこれらの知見を基に、無機フッ化物に関する最新の健康影響評価を作成し、飲料水基準の改訂を検討することを約束した。この検討は、米国保健福祉省 (HHS) 及び当省ケネディ長官との連携により、トランプ政権の「米国を再び健康にする委員会」の目標を推進するものである。

【編集者所感】

わが国の水道水の無機フッ化物イオン基準は、0.8 ミリグラム/リットル以下となっている。^{*)} 一方で、虫歯予防の観点では、意図的に無機フッ化物を添加する水道水フッオリデーションが検討されており、その濃度調整の行方が注目される。

【参考文献】

*) https://www.jda.or.jp/park/prevent/index05_13.html

本コラムでは、NITE ケミマガ等で配信された情報の中から、国際的に注目されているトピックを取り上げ、概要を紹介しています。

本概要は、公開されている情報を基に編集者がまとめたものであり、最終的なご判断は読者の皆さまにお任せいたします。詳細については必ず情報源をご確認ください。